

昨年のゴールデンウィークは、世界中が新型インフルエンザに怯えていましたが、今年は…何だか全然話が出ませんね。数年前のSARS（覚えていますか？）も、翌年からは話題にならなかったような。SARSは命をもおびやかす重篤な感染症と言われたので、広まらなくて良かったですが、新型インフルエンザも、予防接種の効果なのか、結果的には季節性よりも症状が軽かった、と言われているからか…なんですかね？！

～臨床検査技師について～



過去に、何度となく臨床検査技師の特集を組んでいますが、今月も組んでみました。CPAP治療中の患者さまが、無呼吸検査以外で検査を受ける事があると思います。そこで、私たち睡眠スタッフが現れます（笑）「あなたはこの検査もやるんだね～」なんて声を掛けられる事もしばしば。そこで、以前組んだ特集とはちょっと内容を変え、私たちの仕事を紹介したいと思います。

臨床検査技師という資格

検査技師になるための3年の専門学校か3年の短大、4年生大学に入り、卒業時に国家試験を受けます。そこで合格すると『臨床検査技師』という国家資格が持てます。ちなみに、免許証は合格証書（紙）でした。大事に保管しないと！！

臨床検査技師が行える検査

睡眠スタッフの所属する生理検査、貧血などの血液検査、O-157などの微生物、輸血、尿などの一般、臓器のがんなどの病理検査、血清、臨床化学、細胞、公衆衛生、遺伝子・染色体、生殖医学、臨床検査情報システムなどに大きく分けられ、その検査毎に更に詳しい検査が何種類も存在します。このように、専門性が高いので、同じ資格を持っていても、配属部署で個人の知識や経験に差があるのが現実です。施設の規模や環境で、委託する検査・行えない検査もあります。



当院での臨床検査技師（生理検査）の活動場所

就職した病院や企業で、大きく担当する業務は異なりますが、当院の生理検査の仕事は、無呼吸検査はもちろん、エコー（超音波）や心電図、肺機能、脳波などの前回特集した検査から、手術室まで出張してエコーや脳の神経の検査も行います。心臓カテーテル検査でも、心電図の装着から圧測定に携わります。他にも、入院患者さまには、翌日の検査の事前説明を行い、検査への不安の軽減を目指しています。無呼吸検査の結果説明や、CPAP外来で検査技師が問診を行う事も、当院の規模で行っているのは珍しいかもしれません。

臨床検査技師への疑問・質問あれこれ

世間の皆さまが疑問に思うような事、私が友達からよく聞かれる素朴な質問等を挙げてみます。

Q1：どこで「臨床検査技師」という資格を知ったの？

高校での進路希望で、医療系で資格の取れる職種を探す際に、知るパターンが多いでしょうか。親や親戚が医療関係の仕事に就いていて、知っていた、という人もいます。

Q2：臨床検査技師は夜勤があるの？

検査技師も2交代制をとっている所もありますが、当院では、夜間は当直・休日は日直という体制で、必ず1名は常に院内におり、24時間緊急検査の対応をしています。

Q3：狭くて暗い部屋にいつもいるの？（エコー検査は、部屋が暗い方がよく見えます）

患者さまのプライバシー保護のため、検査毎に部屋が分かれ、必要最低限の広さになっています。エコー検査の最中は狭くて暗いですが、内部の生理検査スタッフルームは大きな窓もあり、開放感ある明るい部屋で、レポート作りや無呼吸検査の解析をしています！



三谷

今月のひとこと

花粉症の時期も終わり、CPAP使用の皆さんには、一番いい時期ですね。去年から釣りを始めたので、この時期からは楽しめそうです。（下手くそですが）

文責：彦坂

* 毎月必ず受診して下さい
(木曜のCPAP外来の場合はCPAPもお忘れなく！)

発行：渥美病院
生理検査室